

沖縄県家庭教育支援推進計画(案)の検討状況報告

生涯学習振興課

1 計画策定の趣旨

家庭は、子どもにとって、家族とのふれあいを通じ、人間形成が行われる最初の場であるとともに、人間として基本的な資質や能力を育成する場であり、教育の原点といえます。家庭教育は、子どもの基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上など重要な役割を担っています。しかし、家庭を取り巻く教育環境は大きく変化し、家庭教育が困難な社会になっています。

本計画は、沖縄県における家庭の教育力の改善充実を図るため、県が推進する家庭教育支援の方向性や具体的な取組を示すものであります。

2 これまでの経過

「沖縄県家庭教育支援推進計画」を策定するため、6月に「沖縄県家庭教育推進委員会」を設置し、これまで各部会を全24回開催しました。

(全体会7回, 第1部会7回, 第2部会7回, 第3部会3回実施)

①推進委員(11名)の専門分野について

社会教育、学校教育、家庭教育、健康教育、発達心理学、レクリエーション、広報、睡眠学、教育社会学等

②家庭教育推進委員会各部会について

家庭教育推進委員会を3つの部会に分け内容の検討を実施

第一部会・・・全体総括及び推進計画の検討

第二部会・・・人材育成、学習プログラム、広報啓発の検討

第三部会・・・家庭教育の評価(検証)の検討

3 家庭教育支援推進計画の基本的な考え方

①支援活動

本計画では、県内6地区において、家庭教育支援リーダーによる家庭教育支援アドバイザーの養成講座やフォーラム、講演会等を実施してまいります。

家庭教育支援アドバイザーは、保護者向け学習プログラム『夢実現「親のまなびあい」プログラム』を活用した、ワークショップやミニ講話、訪問型家庭教育支援などを行い保護者の学びを支援します。

②広報活動

家庭教育の必要性、重要性について、ラジオ・新聞・テレビ・インターネット・ポスターやチラシ等の広報媒体を活用し、広く県民への周知を図り、家庭教育や家庭教育支援に取り組みやすい社会環境を整えてまいります。

③家庭教育支援の評価(検証活動)

家庭教育支援推進の状況について、児童生徒の生活実態やその実態に関する保護者の認識、家庭教育支援者の活動状況、県民への周知等の評価方法を検討し、評価を行います

4 家庭教育推進計画の内容等について(案)

第一部 家庭教育支援推進計画の基本的な考え方

第一章 家庭教育支援推進計画策定

第一節 計画策定の趣旨

第二節 家庭教育及び家庭教育支援の現状

- 第三節 家庭教育支援推進計画の必要性
- 第二章 家庭教育支援推進の方向性
 - 第一節 家庭教育支援の基本的な方向
 - 第二節 家庭教育支援推進の具体的取組
- 第二部 夢実現「親のまなびあい」プログラム
 - 1 夢実現「親のまなびあい」プログラム作成について
 - 2 夢実現「親のまなびあい」プログラムの概要
 - 3 家庭教育支援アドバイザーの役割と心得
 - 4 参加者の心構え

「親のまなびあい」プログラムについて(参考)

- ① 幼児期の子どもをもつ保護者向け
 - 【生活習慣】 基本的な生活習慣
 - 【学習環境】 読み聞かせ
 - 【規範意識・マナー】 あいさつ
 - 【体験活動】 親子で遊ぶ
- ② 小学校低学年の子どもをもつ保護者向け
 - 【生活習慣】 朝ごはん
 - 【学習環境】 基本的な学習習慣
 - 【規範意識・マナー】 家庭内のルール
 - 【体験活動】 お手伝い
- ③ 小学校高学年の子どもをもつ保護者向け
 - 【生活習慣】 睡眠
 - 【学習環境】 家庭学習のルール
 - 【規範意識・マナー】 先生や友達との約束
 - 【体験活動】 自然体験
- ④ 中学生・高校生の子どもをもつ保護者向け
 - 【生活習慣】 生活リズムの自己管理
 - 【学習環境】 家庭学習の自己管理
 - 【規範意識・マナー】 携帯電話・インターネット等
 - 【体験活動】 地域活動

5 今後の日程(予定)

- 11月26日(水) 教育委員会会議(報告)
- 12月中旬 沖縄県家庭教育推進委員会(全体会)
- 12月24日(水) 教育委員会会議(決定)
- 平成27年1月下旬 「沖縄県家庭教育支援推進計画」記者発表
- 1月～3月 保護者向け学習プログラムの実施、
家庭教育支援アドバイザー養成講座の開催
- 2月～3月 広報(TV、ラジオ等)の実施、家庭教育フォーラムの開催
- 4月 本格実施